

【道徳・小5・「理解し合う心」 B 友情、信頼】①

育成を目指す資質・能力

(内容項目) B 主として人との関わりに関すること 友情、信頼
「第5学年及び第6学年」 友達と互いに信頼し、学び合っ友誼を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと

(ねらい) 教材に登場する友誼の関係は、「仲間」か「クラスメイト」かを考えて意見交換する活動を通して、友達と互いに理解し合い、よさを認め合いながら人間関係を築いていこうとする心情を育てる。

ICT活用のポイント

- ・アンケート機能により得られた回答データを活用して、AIによる分析を行い、それをもとに問題意識を高める。
- ・授業支援ソフトの共同編集機能により、考えを共有して意見交換する活動を通して、道徳的価値について考えを深める。

【導入】

1 問題意識をもつ

活用①

〔めあて〕

仲間になるために大切なことはなんだろう

【展開】

2 範読を聞く
3 道徳的価値についての考えを交流する

活用②

【終末】

4 めあてについてもう一度考える
5 振り返る

活用③

事例の概要（教材名「心のレシーブ」）

【事例におけるICTの活用場面①】

- ICT端末で、本時のめあてについてのアンケートに回答する
- AIによるアンケートの回答データ分析結果から、道徳的価値についての問題意識を高める

【事例におけるICTの活用場面②】

- 教材の主人公が価値を自覚する前の友誼の関係性について、授業支援ソフトの共同編集機能により共有されたシート内にある自分のカードを移動し立場を明確にして、意見交換する
- 教材の主人公が価値を自覚した後についても同様のことを行い、前後2つのシートを見比べながら意見交換することで、道徳的価値について多面的・多角的に考える

【事例におけるICTの活用場面③】

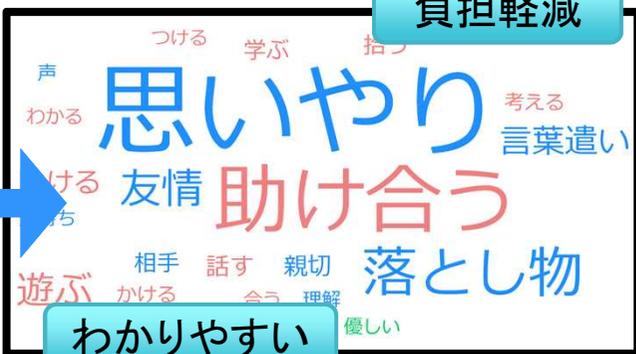
- 活用場面①と同様に、めあてについてのアンケートに回答し、AIによる分析結果より道徳的価値についてのクラスの考えの変容を自覚する

【道徳・小5・「理解し合う心」 B 友情、信頼】②

【事例におけるICT活用場面①】

〈機能〉アンケート作成及び回答・AIによるアンケート回答データの分析

負担軽減



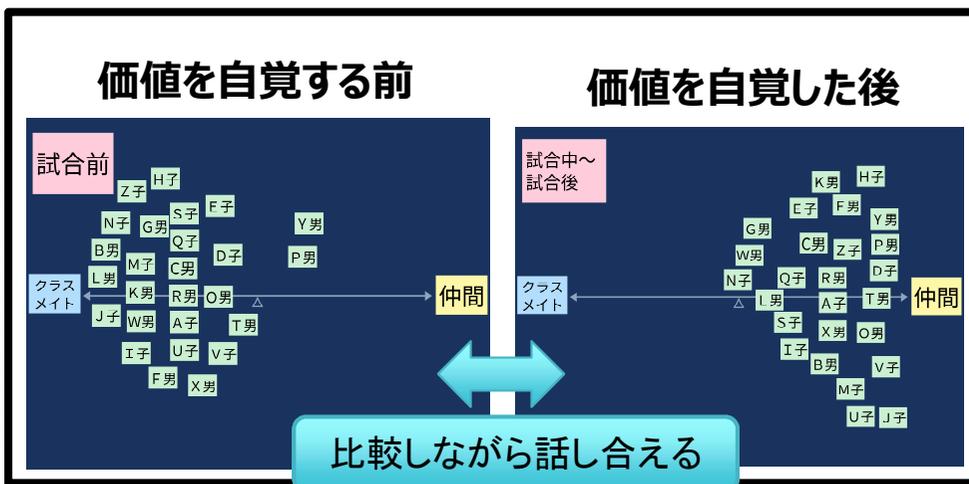
わかりやすい

- タブレット端末で、本時のめあて「仲間になるために大切なことは何だろう」についてのアンケートに回答した。
- AIによるアンケート回答データの分析結果から、「大切なのは思いやりではないか」「助け合うことではないか」等の問題意識を高めることができた。
- ☆デジタルのアンケートを活用することで、印刷・集計作業の手間がなくなる。また、AIによる分析により、クラス全員の回答データがキーワード化され表示されることで、瞬時にめあてについての考えを共有できる。

〈活用ソフト〉授業支援ソフト 〈機能〉共同編集機能

- 主人公が価値を自覚する前後の友達の関係について、「クラスメイト(価値レベルが低い状態)」か「仲間(価値レベルが高い状態)」かを考え、共同編集機能により共有化されたシート上で名前カードを動かし、立場を明確にして話し合った。
- ☆クラス全員の立場がリアルタイムで可視化されることで、他の児童の考えを聴いてみたくなり、その結果、話し合いが活発になる。
- ☆価値を自覚する前後が比較できることで、主人公の心の内を深く考えようという姿につながる。

【事例におけるICT活用場面②】



【事例におけるICT活用場面③】

〈機能〉アンケート作成及び回答・AIによるアンケート回答データの分析



価値についての考えの変容を自覚できる

- 終末でもう一度めあてについてのアンケートに回答した。
- AIによる分析結果より、仲間になるために大切なことが、「思いやりや助け合うこと」から「互いのよさを認め合ったり、より相手の気持ちを理解したりすること」へと変容したことを確認できた。
- ☆導入時と終末時のクラス全体の考えがキーワード化されたものを比較することで、価値についての考えの深まりを実感できる。